



# 勝浦ロータリークラブ

## 50期 THE WEEKLY REPORTS

2012 - 2013年度

No. 23 / Total 2355

例会：2013年2月8日

発行：2013年2月15日

RI会長	田中 作次
第2790地区ガバナー	得居 仁
第5分区ガバナー補佐	古市 一雄
第5分区幹事	島田 誠一
第2790地区地区委員 ロータリー財団委員会	関 一憲
勝浦RC	
新世代奉仕委員会	羽鳥 鋭一
鴨川RC	
勝浦ロータリークラブ 会 長	古川 範男
幹 事	中村 満
クラブ会報委員長	小林 悠紀
副委員長	渡邊 ヒロ子
委 員	渡邊 昌俊
	関 一憲

### ◆2月 8日(金)のプログラム

ゲスト卓話

日経HR顧問

元日経新聞常務取締役 和田昌親氏

### ◆今後の例会予定

#### 2月【世界理解月間】

・2月15日(金)

ゲスト卓話

勝浦市議会議員 土屋元氏

入会式

今井一徳君 磯野武君

・2月19日(火) 鴨川RC IM

会場：鴨川館 13:30点鐘

・2月22日(金) IMに振替

#### 3月【識字率向上月間】

・3月 1日(金) 夜間例会

会場：旅館 松の家 18:00点鐘

### ●会長挨拶 古川範男会長



今月は「世界理解月間」ということですが、今日の卓話ゲストは日経新聞の元常務で国際ジャーナリストの和田昌親さん。実にぴったりのゲストをお迎えすることができました。後で詳しく御紹介するとして、まずは「国際人とは何か」ということについてお話しさせていただきます。

私の友人で総合商社に勤めている男が昔サウジアラビアに駐在したことがあります。帰ってきてこんな話を聞きました。サウジでは家に招かれた際に、調度品などをほめると、帰りにみんな持って帰らなくてはいけない羽目になる。それが習慣だそうです。ですから御世辞に何でもかんでもほめっていると帰りに荷物がいっぱいになってしまう。では、奥さんをほめたらどうということになるか？これはまあ半分以上冗談ですが、ことほど左様に、世界には文化や風習の違う国が沢山あるということです。昔JALの広報担当をしていた作家の深田祐介さんが書いていたことですが、JALでは新人のスッチー教育でこう教えるそうです。「飛行機内で食事を出す際に寝ている人がいたら、日本人なら起こす。イスラム教徒なら起こさないように」。日本人の場合起こさないと後で叱られるし、イスラムだと宗教上の理由で寝ていることがあるので起こすと逆に怒られる。

文化というのは、ある種精神的に特異、差別的なものです。これが一般的になって皆が共有できるようになると文明になります。日本の寿司が代表的な例でしょう。

しかし、皆が皆文明になれるわけではありません。世界の人々を相手にする以上、お互いの文化を尊重し、違いを認めることが国際的なルールです。

私は、従って国際人の定義として、ここに書きましたように、「違いを愉<sup>たの</sup>しむ」人のことだと思います。「楽しむ」ではありません。「愉しむ」です。この「愉」と言う字は、中にある舟と言う意味の「月」を「刀」で削ってシコリを取るように、心のしこりを取ってタノシムということです。お互いの違いを乗り越えて愉快地に交流することです。

よく英語ができれば国際人と思っている人がいますが、英語がいくら話せても国際人に相当しない人は沢山いますし、逆に英語ができなくても国際人の資格を持っている人もいます。

ロータリークラブの遺伝子である「超我の奉仕」とは、まさに「国際人たれ」と言っているに等しい。つまり、「我」を超えれば、あるいは「我」がなくなれば、自分と他人の違いは無くなってしまいか、まったく気にならなくなるはずです。この文脈で言えば「俺が、俺が」と自己主張ばかりしているような人は国際人ではないし、自国の利益ばかりを出張して他国を顧みない中国のような国は国際的とはとても言えません。

ロータリアンたる者、是非「超我の奉仕」を存分に発揮して、心の壁を取り払い、文化の壁を乗り越えて頂きたいと思う次第です。

## ●幹事報告 中村満幹事

1. ロータリーの友事務局より2013 - 14年度版ロータリー手帳の注文が届いております。

## ●委員会報告

### ◆インターアクト委員会 岩瀬文夫委員長

第2790地区インターアクト第三回合同会議のお知らせ。  
2月15日(金)千葉市民会館第1,2会議室 15時~17時

### ◆米山記念奨学会委員会 村石愛二委員

14人の方から3万円の御寄付を頂きました。

### ◆50周年記念実行委員会 水野敬泰実行委員長

例会後、式典会場の国際武道大学へ視察に行きます。

### ◆親睦活動委員会 手塚明宏委員

夜間例会のお知らせ。3月1日(金)旅館松の家18時点鐘

## ●フリップ君の近況報告スピーチ

今月は大きなニュースがあります。僕は剣道部に入りました。剣道は難しいですが楽しいです。たくさん練習をしないとうまくできません。ハワイでは剣道をしていましたが、日本に来てから止めてしまいました。部員は、僕と友達の越川さんの二人だけです。友達は1月に2級になりました。それを見に行き、剣道をやりたくなりました。とても良い先生が3人で教えてくれます。毎日2時間くらい練習をしています。終わるとバスに乗って帰ります。

化学の授業で綿あめとカルメ焼きを作りました。最初は綿あめはうまくできませんでした。失敗したのもう1回作りました。2回目は成功です。昨日作ったカルメ焼きも失敗しました。来週もう1回やります。明後日の土曜日、外の留学生と千葉のカラオケとアニメショップへ行きます。千葉駅で待ち合わせです。僕も大多喜から電車で行きます。スプリングキャンプに行きたいと思います。

まだ、行先は決まっています。今日のオリエンテーションで決まります。早く知りたいです。

## ●ニコニコ BOX

### ○関正己君



私の長男にポリープが見つかり、塩田病院の院長で我が勝浦ロータリークラブの会員である塩田吉宣先生に手術を行って頂きました。こういう素晴らしい技術を持った先生が勝浦にいたんだなと思いました。吉宣先生の診察日は火曜日です。みなさん、何かあったときはぜひ地元勝浦の塩田病院へ通ってください。

## ●卓話

### 日経HR顧問

### 元日経新聞常務取締役 和田昌親氏



「逆さまの地球儀」の著者であり、特派員としてサンパウロに赴任されたご経験のある和田昌親氏に、「中南米を中心にしたら地球はどう見えるか」のお話をして頂きました。田中角栄が首相の頃ブラジルを訪れ、「地球の裏側の皆さん」と言い、ブラジル日系人の方達の反感を買ったお話が印象的でした。自分中心に物事を考えず、「逆さまの視点」で物事をとらえ、大きな視野に立って「地球」を見据えるようになる事が重要だと感じました。和田様、ありがとうございました。

## 出席報告 2月8日(金)

### 出席委員会 前田安彦委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
35名	26名	7名	2名	94.28%